

(様式 1)

令和 4 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立中和小学校
校長名	影山 祥仁

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・第 2・3・4・6 学年は全教科、全国平均正答率を上回った。・令和 2 年度との経年比較で伸びが、第 4 学年は国語、第 5・6 学年では算数が前年より上回った。・全学年、理科の令和 2 年度との経年比較で伸びが前年より上回った。	<ul style="list-style-type: none">・第 5 学年は国語、社会で全国平均正答率を下回った。・国語の令和 2 年度との経年比較で伸びが、第 3・5・6 学年が前年より下回った。・第 5 学年の社会の令和 2 年度との経年比較で全国平均正答率から見た下がり率がさらに下回った。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・全学年「自己肯定感」が全国平均より上回った。・全学年「生活習慣」が全国平均より上回った。・第 3・5 学年で「学級風土」が全国平均より 5 ポイント以上上回った。	<ul style="list-style-type: none">・第 2・4・6 学年で「学習習慣・意欲」が全国平均より下回った。・第 5 学年が 5 項目で全国平均を下回った。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・モノグサの活用により、国語・算数・理科のワークテストの正答率が上がった。・校内研究により、各担任の ICT の授業への活用の意識が高まった。・授業での ICT の活用により、児童の学習への意欲が高まった。・モノグサの宿題活用により、児童の家庭学習の意欲が高まり、活用数、提出率が上がった。	<ul style="list-style-type: none">・「友達との関わり方」「優しい言葉かけ」など、体験活動や兄弟学年の関わりの中で、人との関わり方、人の役に立つ体験を実施し、豊かな心の育成を強化する。・担任教諭だけでなく、学校全体で児童を育てる意識のもと、より児童理解を重要視しながら、「共に遊ぶ・共に話す・共に行動する」ふれあいを大切にしていく。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 学習指導の重点的取り組み

- ・学習課題や問題の解決に向けて、「いつ、どの活動で、どんな力を身に付けさせたいか」を明確にした指導
- ・自分自身の考えを整理し、グループや学級全体に伝える際にも分かりやすく、活発な交流ができる児童の育成
- ・ICT 機器の効果的な活用に関する研究

(2) 学力調査の結果から明らかになった課題への取り組み

- 【国語】・「読む能力」「書く力」に関しては、作文・文法の「ふりかえりシート」、文章読解のプリントを活用する。
- ・学校行事や読書指導と関連させて、作文や感想文、意見文など文章全体の構成や展開を考える指導を充実させることで表現力を高めていく。
 - ・言語の特徴や使い方について、文章の構成を捉え、内容の要約をする活動を取り入れ、「言語についての知識・理解・技能」を高めていく。
- 【社会】・絵図、グラフ、写真などの資料の見方、読み取り方など、色々な資料を複合的に見る力を授業展開の中で重視しながら学習を進めていく。
- ・ICT 機器やタブレットを活用して、児童に興味関心をもたせるような教材を作成し、指導の充実を図る。

(3) 学力向上のための取り組み

【ICT を活用した学習の確立】

- ・特色ある学校づくり推進校として、ICT 機器の効果的な活用に関する研究を行い、ICT を活用した授業力向上と児童の学ぶ力向上を目指す。
- ・モノグサアプリを活用した学習を実施し、学習のふりかえりや家庭学習を効果的に行い、児童の基礎・基本の学力の定着を図る。
- ・ロイロノート分科会・モノグサアプリ分科会を校内の設置し、日常授業での ICT 機器活用の充実を図る。

【基礎的・基本的な学習内容の定着】

- ・基礎学力補充を重点とした「放課後学習クラブ」、B 層を A 層に引き上げるチャレンジ学習である「中和塾」を実施する。どちらも学習支援指導員が「放課後学習クラブ」では基礎学力の定着、学習内容の補充指導が必要な児童を対象に、週 2 日国語・算数を中心にタブレットを活用して基礎・基本の定着を図る。また、「中和塾」では、週 2 日児童の学習意欲を高め、少し高い課題に挑戦し、自力解決力を高める。
- ・第 1・第 2 学年でも、3 展開の習熟度別指導を実施する。特に、DE 層の児童に対しては、学習支援指導員と連携し個に応じた学習支援した TT 指導を行う。また、授業では確認問題や「ふりかえりシート」等を繰り返し行い、基礎学力の定着を図る。
- ・理科・社会の問題データベースプリントを活用する。

【教員の授業力向上】

- ・研究 OJT では、校内研究前の授業研究を実施した後、事前授業を行うことによって、授業内容を理解して校内研究に臨み、協議会で活発な意見交流ができ、教師力を磨く機会となる。
- ・教師のための OJT 研修（ショート・ロング）では、若手教諭の悩みごと、自学研修を基本とするショート OJT を週 1 回、主幹及び中堅教諭が講義するロング OJT を月 1 回開き、コミュニケーションを大切にする。

3 「令和 5 年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・全学年令和 4 年度との経年比較での全教科 DE 層の減少
- ・全学年令和 4 年度との経年比較での全教科 AB 層の増加
- ・全学年全教科で全国平均正答率を上回る。